

# 地域ネットワークニュース

～平成27年10月の勉強会のお知らせ & 9月の勉強会報告～

## 第213回 地域ネットワーク勉強会

### 「障害者支援施設のサービスと 短期入所の利用について」

講師：障害者支援施設 あさひの家（銚田市）  
施設長 郡司征樹 氏（社会福祉士）

10月26日(月)

午後7時00分～午後9時00分

神栖市保健・福祉会館内

参加費無料

※事前申し込みが必要です。

障害者支援施設は、“住まいの場”の提供を基盤とする入所型施設です。施設内では、本人の能力を活かした活動プログラムや生活支援など、個別支援を重視したサービスを提供します。また、地域生活支援として、自宅で生活する障害者が一時的に施設利用できる短期入所（ショートステイ）も実施しています。

障害者の親亡き後を見据えると、自宅で暮らしながら受ける介護や日中活動支援のみでは安定した生活維持が困難になるおそれがあります。安心・安全な暮らしを確保できる障害者支援施設やグループホームといった“住まい”を提供できるサービスが、障害者本人を取り巻く環境が変化した時に重要となります。

今回の勉強会では、知的障害者を主に支援する“あさひの家”の日中活動等の取り組みや利用者支援の現状、ショートステイを利用するために必要な手続きや利用までの流れについてご説明いただきます。

障害者支援関係者や障害者のご家族等、多くの方のご参加をお待ちしています。



※事前申し込みが必要です。別紙申込書もしくは電話にてお申し込み下さい。

申込・問い合わせ先：神栖市社協 地域福祉推進センター 担当：三浦 電話 0299-93-0294



## 第212回 地域ネットワーク勉強会報告 平成27年9月28日開催

### 『見えない障害、高次脳機能障害とは』 <参加者30名>

講師：茨城県立リハビリテーションセンター  
高次脳機能障害者支援コーディネーター  
高橋由紀氏（社会福祉士、精神保健福祉士）

高次脳機能障害とは、脳が部分的に損傷を受け、言語・思考・記憶などの機能に障害が起きた状態で、その原因は、脳血管障害（脳梗塞、脳出血など）や脳外傷（交通事故、転倒など）、その他にも脳炎、低酸素脳症、脳腫瘍などがあります。記憶機能に障害が起きるといって認知症ではないかと思いますが、その違いは、認知症は徐々に進行していくのに対し、高次脳機能障害は進行性はなく回復する部分があるという点です。

『まだまだ高次脳機能障害に関する支援や周知については不足している。生活の場である住み慣れた地域で安心して暮らすことが望ましいため、医療の段階から生活や生きがいを目指した地域生活や社会参加への移行を目指し、地域生活を具現化するための支援体制作りを積極的に実施していきたい』と高橋さんからお話がありました。